

卒業式

今年度の卒業式が、3月2日（金）午後9時30分から、本校体育館で行われました。今年は男子50名、女子46名の計96名が卒業しました。

学校長からは式辞で、様々な情報を収集し、真偽を確認し、取捨選択しながら、今まで培った知識と思考力を駆使することで「時代の変化に対応できる人であれ」、何かを生み出すときや何かを成功させようとするときに一番必要なことは、その人の情熱であり、「思い」なのであり、「何事にも自分の思いを大切にしよう」、人は人に生かされ成長していくものなので、「人との出会いに感謝しよう」という、三つの話がありました。

答辞では3年D組の山崎将一朗君が、3年間の学校行事や3年間続けた柔道部での出来事を振り返り、これらが「多くの方々のサポートによって自分たちがここまで来ることができた」と、感謝の言葉を述べました。また、串本古座高校がめざす考え方にある「グローバル」という言葉を踏まえ、「私たちがこの先、世界のどこで暮らすことになったとしても、私たちの人生を支えていく「根っこ」は、この町のこの学校で学び、感じ、体験したことが基盤となっていくはずです。」と話して、最後を締めくくりました。

式後はクラスに戻り、最後のHRが行われ、担任からの最後の話がありました。

あらためて、卒業おめでとうございます。卒業した諸君らの今後の活躍を期待しています。



百周年に向けて

来年度は、串本古座高校は創立百周年となります。それに向けての様々な取組が始まっていますが、その一つとして、本校資料館の所蔵物の確認を行いました。

当日は、本校OBで平成19年に退職された西野政和元校長先生にご指導いただき、作業を進めました。卒業アルバムは、新制高校になってからのものが全て揃っていることが確認できました。また本校に縁のある方から寄贈された本も何冊かみつきり、あらためて図書館に展示する予定です。商業科（平成14年募集停止）や定時制（昭和60年閉課）の備品や関係資料も、いくつか確認することができました。

ご協力いただいた西野先生、ありがとうございました。



JR防災学習

19日（月）にJR西日本新宮駅と新宮列車区の担当者による、防災学習を実施しました。今までは、列車に乗っていて地震が発生した場合、運転士が扉を開け、運転士の指示で避難することになっていました。しかし、最短5分で津波が押し寄せてくると言われる中で、これでは間に合いません。そこで、乗客が扉を開け、乗客で率先して避難してもらおう、その時に高校生が率先避難者となってもらうために、この防災学習を実施しました。

最初にJRの方から、避難方法の変更点の説明と、DVDを使って率先避難の重要性について話がありました。後半は、CGS鉄道班が作成したDVDを使い、非常時の扉の開け方と避難の仕方について説明がありました。このDVDは、2ヶ月以上にわたってJRと話し合い、11日に行われた列車を使っているJRの訓練にも特別にも参加して作成しました。この様子は、新聞やテレビでも報道されています。

ご指導いただいたJRの皆様、ありがとうございました。また、CGSの皆さんも、ご苦労様でした。



終業式

23日(金)に実施しました。式では校長先生から、まず1年を振り返り「地域密着型の高校として少しでもこの町に貢献してほしいと年頭に話をしたが、学校での各学期の行事の取組、クラブ活躍で、その期待に応えてくれた。」という話がありました。また、セレンディピティ※という言葉을あげ、「この地域のことについて様々な分野で探究を進めることで、高校生の君たちにとって、たとえ小さくてもいいからふとした発見をしてほしいと思っているし、セレンディピティが感じられるようになってほしい」という話もありました。最後に、現1年生・2年生の来年度に向けての課題と期待を話して、式辞を締めくくりました。

※セレンディピティ=素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見すること。また、何かを探しているときに、探しているものとは別の価値があるものを偶然見つけること。平たく言うと、ふとした偶然をきっかけに、幸運をつかみ取ることである。(ウィキペディアより)



吹奏楽部定期演奏会

3月25日(日)に串本古座高校(串本校舎)の体育館で、吹奏楽部第8回定期演奏会が行われました。今回は、「～数に負けないはじけるようなひとときを～」をテーマに、現役部員4名、卒業生5名、そしてOB・OGら賛助出演の22名に新宅先生を加え、合計32名で演奏を行った。威風堂々Brass Rockによってオープニングを華々しく飾り、1部の曲(さくらのうた・小さな恋のうた・RAIN・シュガーソングとビターステップ)は現役部員と卒業生の9名で演奏した。生徒達の演奏に合わせ、先生方がダンスをするなど演出に工夫を凝らし、お客様を魅了した。2部では再度全員の演奏に戻り、現役生徒2名がマリオとルイージに変装し、ゲームやアニメの世界を次々に旅していくという内容をメドレー形式で(ポケットモンスターやドラゴンクエストなど)演奏した。3部ではアンコールを含め5曲を披露しました。キリン氷結のCMソングで使われたParadise Has No Borderという曲は、お客様の掛け声と共に演奏し、会場全体を盛り上げました。また、前顧問の加減先生が世界に一つだけの花を指揮し、卒業生との演奏に色を添えて下さいました。

今回の演奏会では賛助出演の方も含めた大きな演奏会を開催し、お客様に楽しんで頂けて良かったと思います。現役部員4名しか居ないのが現状ですが、新入生も気軽に吹奏楽部に足を運んで体験して頂き、ぜひ吹奏楽部に入部してくれる事を祈っています。これからも地域の皆様に貢献出来るように活動を続けていけたらと思っています。

終わりに

年度をまたいでの発行となりましたが、平成29年度のマンズリーは、これが最後となります。発行にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。平成30年度も継続して発行していきます。引き続き、よろしくお願いいたします。

